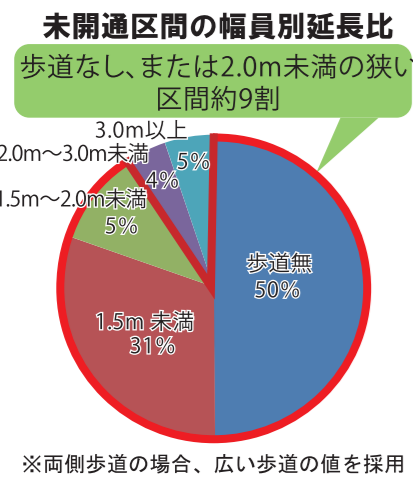


交通の安全確保を目指して

交通安全の確保

未開通区間は、歩道が無いまたは狭い区間が約9割あり、自転車・歩行者の安全確保が課題です。未開通区間では、交通混雑に起因する追突事故や、線形不良による正面衝突事故が多く発生し、死傷事故率は開通済み区間に比べて高い値となっています。名塩道路の整備によって線形が改良され、通過交通がバイパスに転換することで、交通事故の減少および自転車・歩行者の交通安全の向上が期待されます。

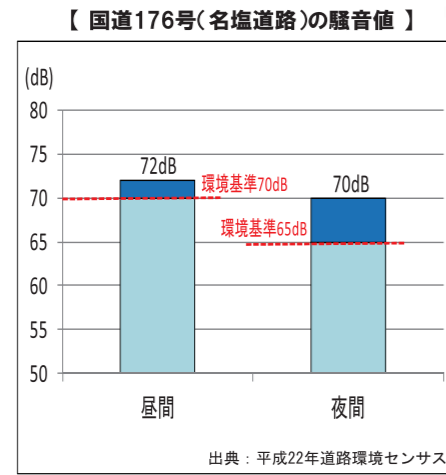
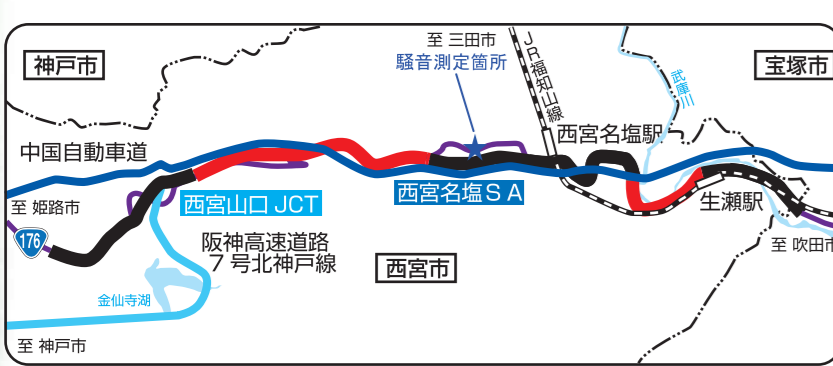


児童通学状況 H24.10.2 (8時頃) 撮影

沿道環境の改善

名塩道路区間の一部は、人家連担地域であるが、この区間では昼間・夜間ともに騒音の環境基準を達成していません。

名塩道路が整備されれば、大型車などの通過交通がバイパスに転換することにより、地域の沿道環境の改善が期待されます。



凡例
未開通 開通済み 一般国道 高速自動車国道 その他有料道路

環境基準とは、環境省により、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として、最終的に、大気、水、土壌、騒音をどの程度に保つことを目標に施策を実施していくのかという目標を定めたものです。名塩道路区間では、騒音について、昼間は70dB以下、夜間は65dB以下に環境基準が設定されています。



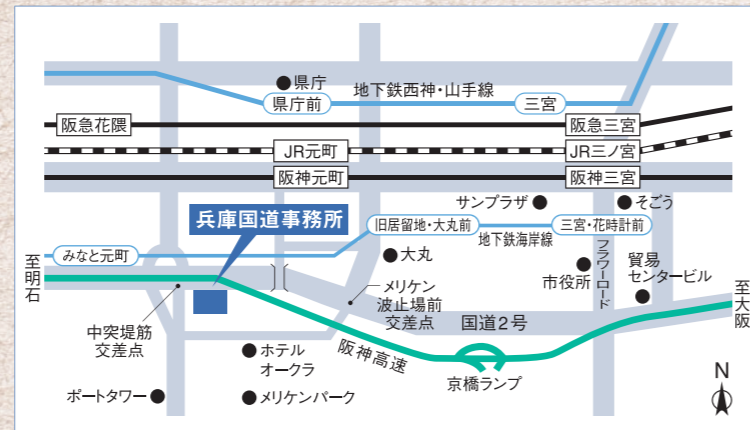
※本パンフレットは和紙と竹細工のイメージをデザインに取り入れています。

■名塩の和紙作り

300年以上の伝統が息づく名塩の和紙。雁皮を原料とし、現地で採れる泥土の微粒子を漑き込むため、シットリとした味わいがあります。虫くいがなく、変色しないなど、耐久性に優れ、2千年は風化しないといわれています。

■山口籠の里

シンプルで素朴な味わいの山口の籠は、明治初期アメリカの貿易商が有馬籠を多量に注文したため、山口の竹職人にも製造を依頼したのが始まりだといわれています。それ以来山口では竹細工が製造され、全国的に売り出されるようになりました。



国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所
〒650-0042 神戸市中央区波止場町3-11
TEL. 078-334-1600 (代) FAX. 078-334-1998
ホームページ
<https://www.kkr.mlit.go.jp/hyogo/>

道路緊急ダイヤル
全国共通電話番号 #9910
道路の異常を発見したらお知らせ下さい
落石 崖崩 橋脚の損傷 落木 気象災害 穴はこ の破損 など
運転中の道路は道路交通法により禁止されています。
安全な場所に停車してからのご連絡をお願いします。

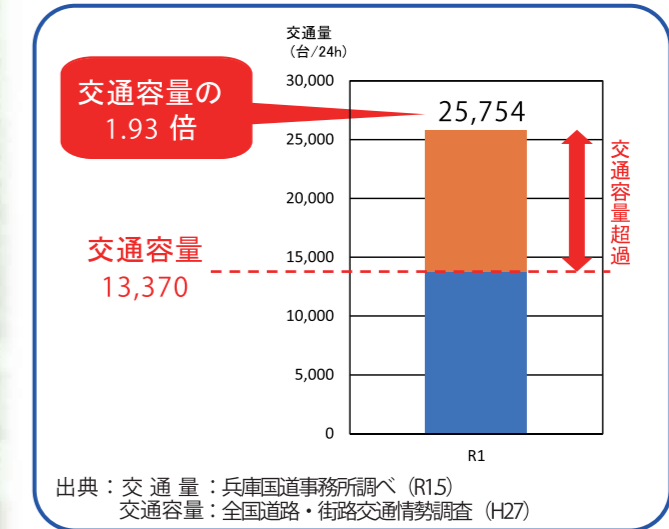
国道 176

名塩道路

慢性的な渋滞の解消と

交通混雑の緩和

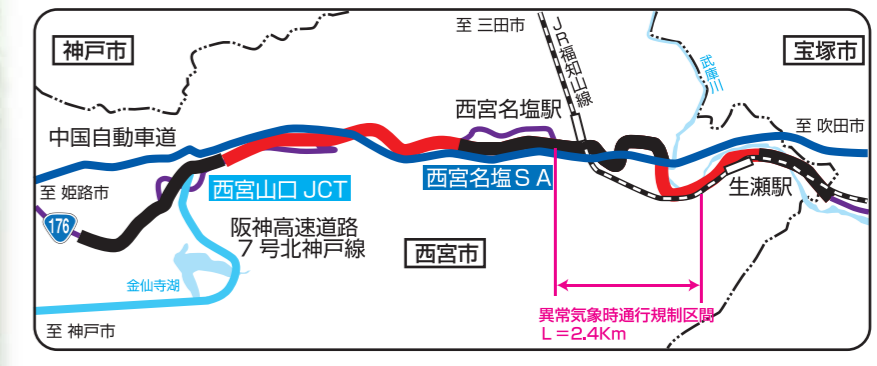
名塩道路区間の国道176号では、交通量が年々増加しており、混雑度も高い状況です。また、急カーブ区間が多く存在しており、自動車の円滑な通行や安全に支障をきたしています。名塩道路の整備により、交通渋滞の緩和及び交通の円滑化が期待されます。



塩瀬町名塩地区交通混雑状況 H24.10.2(7時台) 西向きに撮影

異常気象時通行規制区間の解消 平成30年に2回

国道176号は重要な幹線道路ですが、名塩道路区間の一部は「異常気象時通行規制区間」(連続雨量190mm以上 L=2.4km)があり、近年では平成26年に1回、平成27年に1回、平成30年に2回通行止めを実施しました。名塩道路の整備により「異常気象時通行規制区間」が解消され、道路交通の確保が図れます。



規制日時	時間	規制内容
H26.8.10	約7時間	規制雨量超過 通行止
H27.7.17	約14時間	規制雨量超過 通行止
H30.7.5	約24時間	規制雨量超過 通行止
H30.8.24	約4時間	規制雨量超過 通行止

出典：兵庫国道事務所 災害体制履歴



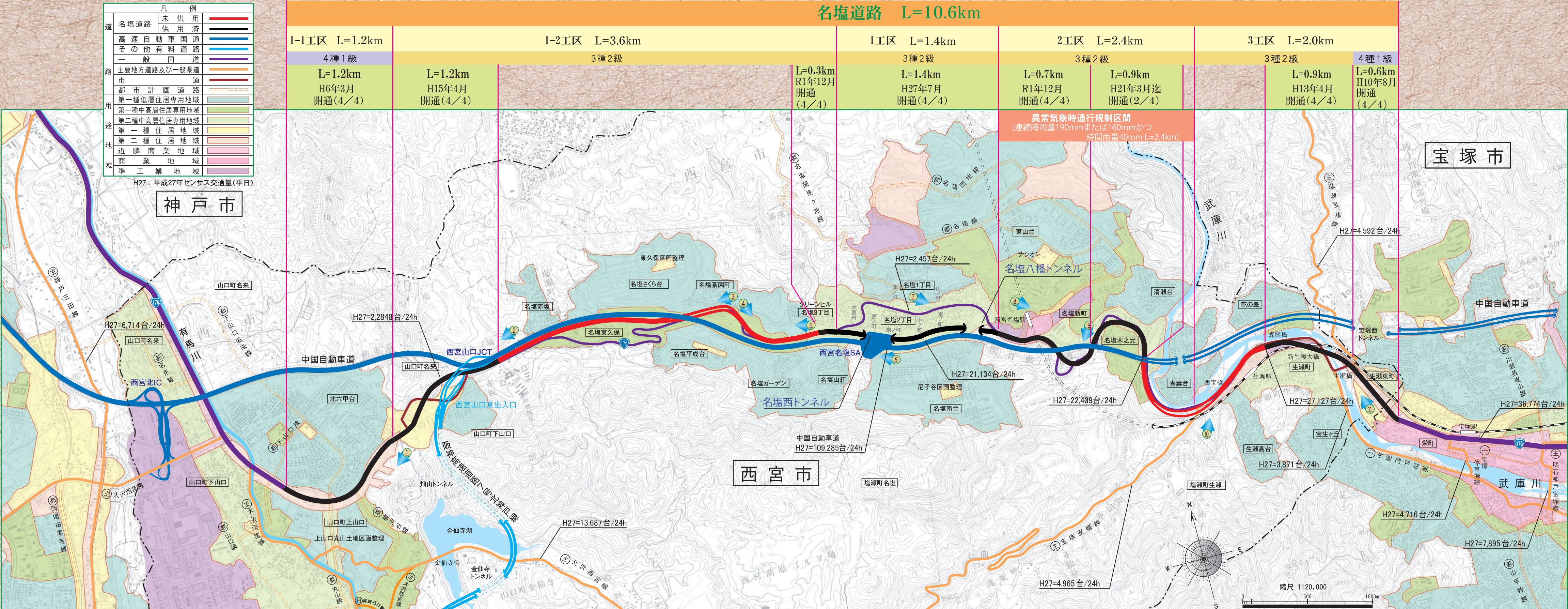
写真① 通行止め状況 H26.8.10撮影

異常気象時(連続雨量190mm以上)に、土砂崩れや落石などの災害が発生するおそれのある場所を「異常気象時通行規制区間」として指定し、通行止めを行うことによって、人や車への被害を未然に防ぐようしています。

※H26.6.23より連続雨量の引き上げ(160mm→190mm)を行っています。

国土交通省近畿地方整備局
兵庫国道事務所

凡 例	
道	名塩道路
路	高速自動車国道
用	第一種低層住居専用地域
途	第一種中高層住居専用地域
地	第一種住居地域
域	第二種住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域



概要

国道176号は、京都府宮津市から阪神北部地域を經由して大阪府大阪市に至る延長178.3kmの主要幹線道路です。このうち名塩道路は、発展の著しい阪神北部地域と阪神都市圏を結ぶ役割を担っている、西宮市山口町から宝塚市栄町までの区間について、現道の拡幅を主体として計画された延長10.6kmの道路です。

この区間の現状は、カーブが多く、道路幅が狭いうえ、2車線道路上に1日当たり約2万台の交通量があるため、朝夕に交通渋滞が生じています。また歩道も大変狭く、人がすれ違う事ができない区間が多くあり、日常生活に深刻な影響を及ぼしています。さらに、異常気象時には通行規制が行われる区間もあり、近年では1～2年に1度の割合で通行止めが発生しており、人流・物流に支障をきたしています。名塩道路は、このような状況を背景に交通渋滞の解消、交通安全の確保および異常気象時の交通確保などを目的として令和6年度に事業化したものであり、地域の発展に大きく寄与するものと期待されています。

令和元年12月までに沿道の開発計画等と調整を図りながら、約7.2km(暫定2車線改良済みを含む)を開通しました。

計画諸元

区間	西宮市山口町上山口～宝塚市栄町3丁目
延長	L=10.6km
規格	第3種第2級 第4種第1級
車線数	4車線
設計速度	60km/h

事業の経緯

昭和60年2月5日	都市計画決定
昭和60年4月	1,2,3工区事業化
昭和63年4月	1-1,1-2工区事業化
平成3年12月	2工区 JR西宮名塩駅前部 [L=0.5km] 暫定2車線(2/4)開通
平成6年3月	1-1工区 上山口地区 [L=1.2km] 完成4車線(4/4)開通
平成10年8月	3工区 西宮市生瀬東町～宝塚市栄町地区 [L=0.6km] 完成4車線(4/4)開通
平成13年4月	3工区 新生瀬大橋 [L=0.9km] 完成4車線(4/4)開通
平成15年4月	1-2工区 下山口地区 [L=1.2km] 完成4車線(4/4)開通
平成17年10月	2工区 尼子谷橋 [L=0.4km] 暫定2車線(2/4)開通
平成20年2月	2工区 木之元地区 [L=0.4km] 暫定2車線(2/4)開通
平成21年3月	2工区 木之元地区 [L=0.3km] 暫定2車線(2/4)開通
平成27年7月	1工区 名塩地区 [L=1.4km] 完成4車線(4/4)開通
令和元年12月	1-1,2工区 名塩地区 [L=1.0km] 完成4車線(4/4)開通

標準断面図

